



京都府丹後保健所HPバナー

No.6

# 新型インフルエンザ NEWS

毎月12日発行

～毎月12日(インフル)は、新型インフルエンザを考える日～

編集／発行 (京都府丹後広域振興局) 新型インフルエンザ対策ワーキング会議

丹後保健所

検索

<事務局>

京都府丹後保健所(丹後広域振興局健康福祉部)

保健室 感染症・難病担当

〒627-8570 京丹後市峰山町丹波 855

TEL.0772-62-4312 FAX.0772-62-4368

www.pref.kyoto.jp/tango/ho-tango

## もくじ

- ・休校！ その時子ども達は… ①
- ・新型インフルエンザの医療対応(第2弾)……①
- ・用語解説(タミフル・リレンザ)……………②
- ・備蓄倶楽部(Part2)……………②

## 休校! その時子ども達は…

2007年春、関東の一部の大学で発生した麻しん(はしか)は、休校になった学生が帰省したゴールデンウィーク後、全国的に大流行しました。

従来のインフルエンザと違い、新型インフルエンザでは、学校内で患者が発生しなくても周辺地域で発生した時点での休校が予想されます。

そのため学校や家庭では、事前に子ども達に休校時の過ごし方を説明しておく必要があります。たとえば「なぜ休校になるのか」「なぜ友達の家遊びに行ってもいけないのか」「どうして外遊びが良くないのか」「なぜ塾やおけいこに行ってはいけないのか」などです。

自宅生活による子ども達のストレスをどう発散させ、学校や塾での勉強をどう継続させるのか、今から考えておく必要があります。



<参考文献等>

- ・「H5N1型ウイルス襲来 新型インフルエンザから家族を守れ!」岡田晴恵氏
- ・生活コラム「新型インフルに備える」朝日新聞

# 新型インフルエンザの医療対応 第2弾

第2弾は、薬剤による治療や予防について説明します。

## 抗インフルエンザウイルス剤 (タミフル・リレンザ)

抗インフルエンザウイルス剤は、細胞内で増えたウイルスが外に出るのを抑える薬剤です。



**種類:** タミフルとリレンザで、冬に流行するインフルエンザ治療に使用されています。

タミフルは経口剤で、リレンザは吸入剤です。

**備蓄:** タミフルを中心に約2,500万人分が備蓄されています。政府備蓄と自治体備蓄、それに流通備蓄も少々加えて確保されています。これらは治療用ですが、これとは別に初期段階の予防投与用として300万人分が政府備蓄されています。

**有効性:** 新型インフルエンザウイルスへの効果は、まだよく分かっていませんが、理論的には効果が期待されます。WHOの推奨もあり、各国で備蓄が進められています。

## ワクチン (プレパンデミックワクチン・パンデミックワクチン)

ワクチンは、ウイルスが細胞内に入るのを防ぐ働きがあります。



**種類:** 鳥からヒトへ感染した事例から分離された鳥インフルエンザウイルス(H5N1)を原料にしたプレパンデミックワクチンと、新型インフルエンザが発生し、ウイルスが特定された段階で、製造が開始されるパンデミックワクチンがあります。

**備蓄:** プレパンデミックワクチンは、2,000万人分備蓄されており、今後さらに1,000万人分追加される予定です。パンデミックワクチンは、全国民分が製造される予定です。

**有効性:** プレパンデミックワクチンは、基礎免疫をつけておくという意味合いが強いもので、今年度約6,000人に治験し効果を検証中です。

**優先:** プレパンデミックワクチンは、医療従事者やライフラインを維持する人への接種が優先されます。パンデミックワクチンは医学的な考え方だけでなく、様々な議論を積み重ね決定される必要があります。

増殖を抑えるか  
侵入を防ぐかだね。



<参考>「新型インフルエンザへの備え」アステラスSkyセミナー資料 岡部信彦氏

## (用語解説) タミフル・リレンザ

タミフルとリレンザは、新型インフルエンザに対してWHOが推奨している治療薬で、どちらも、気道等へ感染した細胞から新たな子孫ウイルスの放出を阻止し、ウイルスの増殖を抑える薬です。

現在、冬に流行するヒトのA・B型インフルエンザに使用されており、新型インフルエンザに感染した場合でも、早期(2日以内)に服用すると重症化を予防する効果が高いと考えられています。タミフルが一般的に有名ですが、リレンザは専用の吸入器を使って投薬するもので、同様の効果があります。下痢を起こしている場合などは、リレンザを用いることになります。

商品名	タミフル(tamiflu)	リレンザ(releza)
正式名	リン酸オセルタミビル	ザナミビル水和物
形状	カプセル	霧状
投薬方法	経口	吸入
投薬量(治療)	1日 150 mg 5日間(発症後2日以内)	1日 20 mg 5日間(発症後2日以内)
投薬量(予防)	1日 75 mg 10日間(ウイルス暴露後)	1日 10 mg 10日間(ウイルス暴露後)

【注意】投薬量はどちらも冬に流行するインフルエンザ治療の一般的なもので、成人での量です。

なお、タミフルについては、新型インフルエンザ治療での投薬量でもあります。(国のガイドライン) どちらの投薬にも医師の処方箋を必要とし、一般の薬局では買えません。

～情報の贈り物～

### 備蓄倶楽部 Presents Part2



Part2

新型インフルエンザが発生すると、流行時は病院に患者が押し寄せるため、緊急でない病気やケガは医療機関を受診できなくなる可能性がありますので、家庭医薬品や消毒剤等も備蓄しておきましょう。

医薬品編

- 常備薬(頭痛薬、胃腸薬、下痢止め、持病の薬)
  - 病院で処方されている薬の内容をメモ
- 解熱鎮痛剤(インフルエンザで発熱中の15歳未満の子どもにはアセトアミノフェンは○、アスピリン[サリチル酸系]は×)
- マスク(気密性が高く、不織布素材のもの、使い捨てのものを1人あたり20～25枚用意する)
- 使い捨て手袋、ゴム手袋(破れにくいもの)
  - 使い捨て手袋は介護用品売り場等で入手可能
  - ゴム手袋は1回使用ごとに消毒が必要
- 消毒用エタノールや家庭用塩素系漂白剤
  - 酸素系漂白剤は×
- 手洗い石鹸
  - 固形石鹸は表面に細菌やウイルスが付着するので、液体のものが○
- うがい薬
- 鼻洗浄用の薬
- 体温計
- 水枕、氷枕、保冷剤
- 使い捨てカイロ、湯たんぽ
- ゴーグル
  - 目の粘膜からのウイルスの感染を防ぐため
- 絆創膏
- ガーゼ、コットン

<引用文献>

「新型インフルエンザの学校対策・H5N1型ウイルスから子どもたちを守るー基礎知識と指導資料ー」  
岡田晴恵氏

### 丹後地域医療機関連絡会議



医療体制の構築を目指して、10月9日に連絡会議を開催しました。

医師会や医療機関の代表などの出席のもと、発熱外来や新型インフルエンザ患者の入院確保等の具体的な対処方法について話し合いました。

会議では、「遠方の住民の受診方法はどうするのか?」「高度医療や専門の対応を必要とする患者の対応は?」「検査キットがない発熱外来でのトリアージ方法は?」など、様々な意見がだされ、さらに具体化が必要な内容が明確になりました。

来月はこれだ!  
知識のワクチンは  
強敵だ!



新型インフルエンザNEWS No.7  
(平成20年12月12日発行)

- ・トピックス
- ・新型インフルエンザの医療対応(第3弾)
- ・用語解説(咳エチケット)
- ・備蓄倶楽部(Part3)